

令和2年度 事業所職員向け 児童発達支援自己評価集計表

一般財団法人三輪車 さんりんしゃ(児童発達支援センター)

	番	チェック項目	はい	いいえ	わからない	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練等スペースとの関係で適切であるか	9			少人数の時も広いスペースで過ごすので、フロアを区切ると生活がしやすい。
	②	職員の配置数は適切であるか	7	1	1	1対1での対応が必要な時が多い為、4対1での配置だけではむずかしい。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	5	1	2	十分ではないが少しずつ改善している。 トイレの手すりや、手洗い場が、バギーや車椅子の子供への対応になっていないと感じる。AD/HDの子供にはドアが必要だと感じる。安全性を考えると鍵も必要。 トイレの手すりが無い。手洗いの時にバギーに乗ったままだと、お互いがやりやすい。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか、また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	7		2	掃除は行っているが、子供の活動に合わせた空間にはなっていない。感覚統合遊具がなく、子供のエネルギー発散ができない。
	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画していますか	5		4	定期的な会議が必要。 日常の中での会話では、パートと常勤が混じって話すが、会議とかの交流はない。
業務改善	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	6		3	
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	5	1	3	
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	4	1	4	昨年度(令和1年度)に実施。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5	2	2	十分ではない。 実施できる時に個別で行っている。
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	7		2	
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準されたアセスメントツールを使用しているか	4		5	
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援に提供すべき支援」「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	8		1	
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	5		4	定期的な会議が必要。
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	3	1	5	定期的な会議が必要。
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	7	1	1	固定化がみなので、もう少し工夫が必要。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成しているか	6	1	2	
適切な支援の提供	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	8		1	
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	7	1	1	時間がある時のみ行っている。 パートの方には、その時間内で話すようにしている。
	⑲	日々支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	9			職員の業務負担軽減が、優先になっている。
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	6		3	

	番	チェック項目	はい	いいえ	わからない	工夫している点、課題や改善すべき点など
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	4		5	
	㉑	母子保健やこども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	2		7	相談支援事業所を通して行っている。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等の在宅支援のために、地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	3		6	保護者を中心に、情報共有連携を行っている。
関係機関や保護者との連携	㉓	医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害者である子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	7		2	
	㉔	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	7		2	保育所等訪問で伝えている。
	㉕	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	2	2	5	
	㉖	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	2	3	4	保護者より発達センターでの結果を、持ってきてもらっている。 新型コロナウイルス感染症の為に実施できていない。
	㉗	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	4	3	2	新型コロナウイルス感染症の対応の為に中止している。
	㉘	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	2	3	4	
	㉙	日頃から子どもの状況を保護者に伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5		4	送迎時に伝える。 スタッフとの打合せが必要
	㉚	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	4	2	3	新型コロナウイルス感染症の対応の為に中止している。
保護者への説明責任	㉛	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明をおこなっているか	7		2	
	㉜	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	7		2	
	㉝	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	7		2	
	㉞	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	2	3	4	新型コロナウイルス感染症の対応の為に中止している。
	㉟	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6	1	2	
	㊱	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	7		2	月に一回のお便りで、発信している。
	㊲	個人情報の取扱いに十分注意しているか	9			
	㊳	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6		3	
	㊴	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	3	3	3	
	非常時の対応	㊵	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	8	1	
㊶		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	9			
㊷		事前に、予防接種やてんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	9			
㊸		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	8		1	

	番	チェック項目	はい	いいえ	わから ない	工夫している点、課題や改善すべき点など
非常時の 対応	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	7	1	1	
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	9			十分ではない所はある。
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	5	2	2	対象児がいないので、実施していない。

児童発達支援センターさんりんしゃ